

## 26 中学生・高校生、施設・団体と地域をつなぐ

### ○開催目的

現在、中学生・高校生のボランティア活動は広がりを見せ、日本国内のみならず海外の支援活動も行っています。しかし、その活動は特定の人にしか広がっていないことも事実です。この分科会ではそのような中学生・高校生が、今、どのようなボランティア活動をしているのかを共有し、中学生・高校生とボランティアを提供する施設・団体と地域をどうつなぐかを話し合う場にしたいと思います。

### ○開催日時

2月14日(日) 13:30 ~ 16:00

### ○参加者数・出演者・団体

参加者数：79名(参加・出演者69名、スタッフ10名)

出演者・団体：

都立南平高等学校  
順天中学校・高等学校  
都立新宿山吹高等学校  
東京女学館中学校・高等学校  
都立練馬高等学校  
都立第五商業高等学校  
遠藤 信裕さん



(社会福祉法人東京栄和会なぎさ和楽苑)

小野 明子さん(東京ボランティア・市民活動センター)

### ○プログラム内容・成果と課題

1) 各校発表

- ① 南平高校からは、宮城県石巻西高校交流プログラムなどの発表があり、石巻に実際に行ったときの報告がありました。
- ② 順天高校からは、東北訪問を行った際の現地の様子・状況などの報告がありました。
- ③ 新宿山吹高校からは、猫の保護や環境整備についての発表がありました。
- ④ 東京女学館高校からは、フィリピンへ訪問した時の活動などの発表がありました。
- ⑤ 練馬高校からは、地域の夏祭り・秋祭りでの活動などの発表がありました。ボランティアから学んだことや反省点の報告もありました。
- ⑥ 第五商業高校からは、地域イベントでのボランティア活動についての発表がありました。

## 2) グループワーク 【自己紹介、発表の補足・感想 等】

グループに分かれ、グループリーダーを中心に「TOCAS」(アイスブレイク用カード)を用いてアイスブレイクを行いました。その後、発表についての質疑応答や感想等についてグループワークをしました。

## 3) グループワーク 【テーマについての話し合い】

各グループで、グループリーダーを中心に今回のテーマについて話し合いました。

### ◎成果と課題

中高生から各学校の先生、地域の方々など、幅広い年齢層の方たちが集まって開催したため、さまざまな意見を交換することができました。TOCAS を用いたアイスブレイクもしっかりできて、各グループでそれぞれの想いを交換できたと思います。この共有できた想いをこの分科会にとどめるのではなく、ボランティア活動についていろいろな人に知ってもらうことが次の課題となります。

### ○参加者の声

- ・自分が考えていたボランティアとは違うボランティアがあって驚きました。
- ・いろいろな人とかわかることで得るものがたくさんありました。
- ・生徒を支える大人も必要だと感じました。
- ・いろいろなボランティア活動があることが分かりました。
- ・自分の考えていたことがすべてじゃないことを学びました。今回の話し合いで得たものをこれから活用していきたいです。

### ○担当者・記録

《担当》	後藤 務 (NPO 法人 VCAS)
	土屋 弦 (明治大学)
	遠藤 信裕 (社会福祉法人東京栄和会 なぎさ和楽苑)
	小野 明子 (東京ボランティア・市民活動センター)
《運営サポート》	岩田 凌 (日本電子専門学校)
	田丸 精彦 (NPO 法人 VCAS)
	小杉 弘美 (運営ボランティア)
	榎本 朝美 (運営ボランティア)
《記録》	埴 大輝 (順天高等学校)
	高村 浩美 (順天高等学校)